

研究課題名「加齢黄斑変性に対するTAE治療法の長期成績」に関する情報公開

1. 研究の対象

2012年1月1日から2017年11月30日までに行われた加齢黄斑変性に対してアフリベルセプトもしくはラニズマブ硝子体内投与を受けた方

2. 研究目的・方法・研究期間

加齢黄斑変性による脈絡膜新生血管に対する治療として、抗VEGF薬の硝子体内投与が行われているが、依然完治には至っていない。抗VEGF薬の硝子体投与の方法としてTAE法を用いた症例について、長期的な治療成績を解析する。TAE法は、悪化したら治療する従来法と異なり悪化する前に治療を行っていく治療方法である。カルテより、2012年1月1日から2017年11月30日までに行われた加齢黄斑変性に対してアフリベルセプトもしくはラニズマブ硝子体内投与を受けた患者情報を取得し、解析を行う。症例数は約300名を想定している。データをまとめる際には、名前、住所などは用いず、資料は連結不可能匿名化する。本研究において利益相反は発生しない。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、年齢、視力、視野、屈折、角膜曲率半径、角膜厚、眼軸長、眼底所見、光干渉断層計、光干渉断層計血管造影、眼底写真、蛍光眼底造影、細隙灯顕微鏡検査、罹病期間、現病歴、既往歴、家族歴、使用薬剤、同薬剤投与回数。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科眼科学 安間 哲宏（研究責任者）

052-744-2275

名古屋市昭和区鶴舞町65